

## 第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

福岡市立西高宮小学校 教諭 山口 園美

### 1. 単元名 「ともに生きる～すてきな町 西高宮～」

### 2. 単元の目標

- ・ 知りたいことや調べたいことについて、人に尋ねたり資料やインターネットなどを使ったりして調べたりし、まとめることができる。 (知識・技能)
- ・ 校区の一員として自覚をもち、今自分ができていることを考え、校区への願いや、市・県・国の取り組みを考えるきっかけをもつことができる。 (思考・判断・表現)
- ・ 福祉について自分事として捉え、意欲的に地域の方と関わり、体験学習や調べ学習を積極的に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

本校は、交通の便利が良く、多くの商店が立ち並ぶと共に、古くから住宅地として立地する一方、頻りにマンションが建設され、市内でも有数の人口を抱える地域である。交通量も多く、坂も数多く点在し道路の道幅は狭く入り組んでいる場所も多い。

また、高齢者向け施設も多く、公民館をはじめ、男女共同参画推進センターなどの施設もあり、休日には学校の運動場で生涯スポーツも盛んだが、子どもたちは頻りに交流を行っている機会が多いとはいえないという現状がある。

そこで、本単元では、福祉の立場に立ち、体験活動や調べ活動を通して、体の不自由な方をはじめ、妊婦さんや小さい子ども、高齢者、外国人などの目線で、住みよい町について考えさせたい。地域の人々と触れ合う体験とともに、車椅子体験やアイマスク体験などを取り入れ、今まで感じなかった発見や大変さを実感させるようにしたい。

さらに、今何ができるかを考え、取り組むことを通して、校区の全ての方が安心して暮らせる住みよい町を考えさせる。そして、校区の一員としてこれからも過ごしていく決意を培わせたい。

#### (2) 児童観

本学級の児童は、第3学年における総合的な学習の時間「すてきな町 西高宮」の学習で、公民館の方々や地域の方々の校区に対する思いを聞いたり、校区探検を通して、それぞれがもっと知りたいお店や公園、神社や寺院などを訪問し、校区のすてきな人や施設について学び合った経験がある。また、夏祭りや地域運動会など地域の行事や、全員が「あかりのともる新池祭り」に参加し、校区の良さを感じている。

しかし、校区の一員としての自覚や意識がまだ薄く、相手意識をもって活動ができるまで至っていない。

### (3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、福祉に関連した町の絵をもとに、みんなにとって住みよい町か考える。みんなとはどんな人か問いかけ、妊婦さん、小さな子ども、高齢者、目の不自由な人、耳の不自由な人、体の不自由な人、目に見えない障がいをもっている人、外国人などに気付かせる。住みよい町とはどんなところか問いかけ、安全な町、困っている人に声をかけることができる町など引き出し、福祉の立場に立った学習をする意欲をもたせたい。

次に、ゲストティーチャーの公民館長さんの話を聞き、校区の人たちがどのようになればより住みやすいと思うかを知り、福祉やまちづくりに関してもっと知っていこうとする意欲をもたせる。

そして、体験学習や調べ学習を通し、今自分ができることに取り組みせ、さらに今後どんな町にしたいか、未来予想図を考えさせ、これからの活動や生き方にそのような視点をもちつなげていくようにする。

### (4) ESDとの関連

#### ・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

多様性…自分の周りには、様々な立場の人、障がいをもっている人がいることを知り、  
尊重し合って生きていくこと。

公平性…それぞれの世代でやるべきことがあり、お互いを意識しながら生きていくこと。

#### ・本学習で育てたいESDの資質・能力

つながりを尊重する態度

様々な人とのつながりが豊かな学びになっていることを自覚し、尊重しようとする。

進んで参加する態度

地域のために自分にできることはないか考え、意欲的に関わろうとする。

#### ・本学習で変容を促すESDの価値観

人権・文化を尊重する（文化多様性の重視）

様々な立場の人がいることを知り、平等の精神を養う。

幸福感に敏感になる、幸福感を重視する

小さな勇気、小さな優しさが人の連携につながることを考える。

#### ・達成が期待されるSDGs

3 すべての人に健康・福祉を

11 住み続けられるまちづくりを

#### 4. 単元の評価規準

(ア) 知識・技能	(イ) 思考・判断・表現	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
① 学んだり、調べたりして知ったことを言葉や図、絵などでまとめることができる。	① 校区の一員として自覚をもち、今自分ができていることを考えることができる。	① 福祉について自分事として捉え、意欲的に地域の方と関わることができる。
② それらに関係づけながら自分の考えを分かりやすくスライドにまとめたりすることができる。	② 未来の町づくりについて思いをもつことができる。	② 体験学習や調べ学習を積極的に取り組むことができる。

#### 5. 単元の指導計画（全20時間）

次	主な学習活動	学習への支援	評価（△） 備考（・）
1 （1時間）	○福祉に関連した町の絵をもとに、みんなにとって住みよい町か考える。 ・みんなってどんな人かな。 ・住みよい町って、どんな町かな。 ・交通量が多くて、危険なところが多いな。健康な自分にはなんてことないことでも、小さい子や高齢者の方にとってはどうだろう。 ・歩道が狭く、段差があって、ベビーカーが通りにくそうだ。 ・今まで、自分以外の人のための町について考えたことがなかったな。	・3年生で、校区探検に行き、住みよい町にするためにいろいろな方が活動していたことを想起する。 ・福祉に関する副教材の本の絵を提示する。 ・みんなとはどんな人か問いかけ、妊婦さん、小さな子ども、高齢者、目の不自由な人、耳の不自由な人、体の不自由な人、目に見えない障がいをもっている人、外国人などに気付かせる。 ・住みよい町とはどんなところか問いかけ、安全な町、困っている人に声をかけることができる町、仲の良い町、みんなが楽しめる町などを引き出す。	イ①（思判表）
2 （4時間）	○公民館長さんのお話を聞く。 ○QRコードを使って、アンケートを取り、校区の人々の願いを知る。 ・やっぱり坂道は大変なんだな。 ・ぼくたち子どもと話すことは嬉しいんだな。 ○校区の耳の不自由な方をGTに迎え、お話を聞く。 ○市役所の方に、福岡市の現状を話してもらおう。	・公民館長さんに、地域の人が喜んでいることや困っていることを話していただき、校区のためにできることは何か考えてほしいことを提案してもらおう。 ・GTとは事前に打ち合わせをしておく。 ・校区を学ぶことを通して、市・県・国の取り組みを考えるきっかけになる言葉かけをする。	ウ①（主体的）

3 (2時間)	<p>○もっと校区のことを知るために、校区探検に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段差や横断歩道や、どんな人が行き来しているか、しっかり見よう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の視点で町探検を行う。</li> </ul>	ウ②（主体的）
4 (3時間)	<p>○車いす体験や、アイマスク体験，点字打ち体験をする。</p> <p>○お年寄りや妊婦さん，障がいをもっている方と交流し，取り組んだことがその人のためになっているか確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を行ったり，G Tを招いたりして，喜びと大変さを感じさせるようにする。</li> </ul>	ウ②（主体的）
5 (2時間)	<p>○気になったことを本やインターネットで調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盲導犬だけでなく、聴導犬や介助犬もいるんだな。</li> <li>・手話をしたり、点字を打ったりしてみよう。通じて嬉しいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室の本を準備する。</li> </ul>	ア①（知技）
6 (5時間)	<p>○自分にできることを考え，自分の課題を決める。</p> <p>○取り組んだことを活動をまとめる。 (予想される活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話を歌って広める。</li> <li>・点字で手紙を書く。点字の書き方を説明する動画を作る。</li> <li>・盲導犬、聴導犬、介助犬などのポスターをつくる。</li> <li>・体の不自由な方、それぞれに合った声かけや補助のしかたの説明。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を作る，公民館に掲示する，などまとめ方について，子どもの思いが達成できるようにサポートする。</li> </ul>	ア②（知技） イ②（思判表）
7 (2時間)	<p>○取り組んだことや校区への願いを公民館の方々へ発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区の人たちに自分たちの取り組みや考えを伝えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館長さんの提案を想起させる。</li> <li>・学習を通して自分の取り組みを振り返らせることで，自分自身の成長に気付くことができるようにする。</li> </ul>	イ②（思判表）
8 (1時間)	<p>○活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも校区の一員として，人々を大切にしている行動をしよう。</li> <li>・校区から市・県・国につながることを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所の人々のアドバイスを想起させる。</li> <li>・今後も継続的に課題をもって生活できるように，代表委員会等で提案するなどさせる。</li> </ul>	イ②（思判表）